

## 平成31年度おだわら市民交流センターUMECO実施予定事業

※平成30年度実績値は、平成31年1月末時点。

### ①拠点機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	31年度 目標値	30年度 実績値
1	UMECO 企画展	きっかけ	市民活動団体が実施している社会貢献活動内容等を多くの市民に紹介し、団体と市民がつながるきっかけを作る。	市民活動団体や関係所管部署からの展示企画の要望等を反映した形で、各団体の特徴を生かしながらジャンルごとの展示をする。また、市の行事や季節感のある行事を取り入れ、一般市民が興味を示すような企画展を開催する。	開催回数	30回	28回
					参加団体数	35	31
その他	団体登録制度	—	登録団体の登録期間は1年内で、翌年度の6月30日までとなる。(おだわら市民交流センター条例施行規則第6条より)これは、団体に少なくとも1年に1度は活動実績をベースに次年度の活動計画を立案し登録団体の更新をする。書類の受理をすることでUMECOスタッフと登録団体とのコミュニケーションを図ることを目的とする	UMECOに登録している市民活動団体に、年度更新の通知文を送付する。団体から必要書類の提出を受けて確認できた団体に関し、UMECOは登録団体データベースを更新する。それに合わせてHPの団体内容も更新される。 又、市民への閲覧用としてUMECO館内に登録団体の紹介冊子を設置、公開し登録団体の活動紹介をする。	登録期間	6月末までに団体登録の更新完了	
	活動エリアの管理		市民活動団体が、無料で使用できる活動の場を提供する。	登録団体が、3か月前から予約できる。なお、当日空いている場合は交流エリアとして誰でも利用できる。	活動エリア稼働率	28.00%	26.01%

### ②相談・支援機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	31年度 目標値	30年度 実績値
2	相談業務	全て	市民活動・NPO関係・その他一般市民の市民活動に関する相談を受ける。相談内容に応じ、適切な対応をすることにより、相談者の市民活動を活発化させる。	相談業務の充実を図るために、全ての相談をスタッフ全員が受け付け対応できるようにする。通常相談は常時受付、予約相談は月1回第1土曜日を実施する。	相談件数	60件	49件
3	UMECO市民活動応援補助金	行動実現	市民活動団体が行う事業に対し、財政支援を行うことにより、市民活動の活性化を図り、市民の創意を活かした市民主体のまちづくりを進めること。	現行の小田原市市民活動応援補助金の内容に加え、市民等からの寄附金も財源とする。種類はスタートアップコース、ステップアップコース(プランA及びB)とし、審査は小田原市市民活動推進委員会委員からなる審査会で行う。	応募件数	18件	
					H32補助金額	230万円	
					寄附金額	30万円	

### ③協働支援機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	31年度 目標値	30年度 実績値
4	市民活動団体 と事業者との 協働事業	実現	市民活動団体が企業とネットワークを組むことにより、市民活動団体の活動場所や市民活動の意義の周知や、又団体の資質の向上にもつなげる。企業のCSRと活動団体の協働事業を行うことにより、更なる市民活動の推進発展を図る。	登録団体と企業が協働事業を展開することにより登録団体の活動内容を、市内外の地域に周知することが出来る。企業とのネットワークなので、企業と相談の上win-winの中で活動する。又5年の間で新たな企業との協働事業を開拓する。初年度として実施可能な企業形態などを検討し施行する。	開催回数	年3回	年2回
					参加団体数	30	20
					参加者数	960人	600人
5	地域活動団体 ネットワーク 形成事業	実現	地域活動団体は、地域を形成するうえで非常に大きな力を持っている。そこで地域活動団体と市民活動団体と連携する中で、地域の活性化や課題解決へと結びつける。	今年度は地域の課題解決のために、行政と情報交換を行い、中間支援組織としては、UMECOの登録団体が地域課題の解決を支援する対策を企画し実施する。 又従来から実施している地域活動団体等からの依頼に応じ、適した市民活動団体を選定し、紹介する。両者の交流を通してお互いの活動内容を理解し、今後の発展的な活動に繋げる。	実施回数	60回	57回
					実施団体数	10	6
6	協働事業（う きょうき交流サ ロン）	行動 実現	市民活動の担い手となる高齢者の社会参加を増やすとともに、UMECOと同様にボランティアを支援している小田原市社会福祉協会・地域包括支援センターしろやまとの連携を強化する。またできる範囲内で学校・企業・市民活動団体に働き掛け新たな協働事業を展開する。	協働開催イベントは継続し、今後3事業体の実務者協議を行って課題解決への企画案を提示する。今後いろいろな面で市民活動が発展的につながるように活動を展開する。	実施回数	2回	2回

### ④学習・体験機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	31年度 目標値	30年度 実績値
7	市民活動入門 講座	きっかけ	超高齢化社会の中、若い人も含めシルバー世代の方が生きがいを持ち、活き活きとした社会生活が出来るよう市民活動へのキッカケ作りをする。	市民活動の基本的な内容や、なぜ市民活動が楽しいのかを知って頂けるような講座を実施。市民活動を知らない方を対象に、市民活動に興味を持ち、活動をはじめてもらえるようなキッカケを作るための講座を開催する。	開催回数	1回	2回
					参加者数	40人	37人
8	NPOマネジ メント講座	実現	市民活動団体がNPO法人を目指し活動をして頂く手段として講座を企画。NPO法人に関する知識が得られるような講座を開催する。	NPO法人になる為の書類の作り方・帳簿のつけ方・資金調達の方法など必要な内容について専門家を講師として迎え講座を開催する。	開催回数	1回	3月予定
					参加者数	20人	3月予定

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	31年度 目標値	30年度 実績値
9	夏休みボランティア体験学習	きっかけ	青少年の時期には、学校内外を通じてボランティア活動の場や機会を充実させることが大切である。社会にどのような貢献ができるかという「ボランティア精神の芽生え」のきっかけ作り。	ボランティアの受け入れを登録団体に募集し、受け入れ団体と・児童・生徒との橋渡しをする。できるだけ多くの市民活動団体の活動を体験させるために団体の積極的参加を得る。また、学生と関係ある学校側の協力を得るよう働き掛ける。参加申し込み方法を簡素化し、多くの生徒・学生・一般も含めて参加しやすいようにする。	開催回数	年1回	年1回
					参加団体数	45	45
					参加者数	280人	258人
10	学生支援 (ティーサロン)	きっかけ	ティーサロンを通し高校生や(大学生)の企画力や実施力を養う。そこでティーサロンの企画や実施を通し若いアイデアを生かし市民活動団体をはじめ、広く一般市民の方を対象に、お茶をしながらソフトな雰囲気の中での交流会を開催する。 又UMECOからの様々な情報を提供し、市民活動を知る機会を提供する。	高校生が主体となって企画立案し運営する。この事業を実施することにより高校生の企画力や行動力、色々な団体との交流が出来る大きな機会となる。又企画の中で市民が興味を示す工夫や四季を通じた行事色を生かし、誰もが一緒に季節感を楽しみながらお茶を飲める雰囲気を作りおもてなし等もする。 UMECOは活動に参加している高校生ボランティアの意思を尊重し、高校生自らが企画運営する事業のサポートなどを行い、自立に向けた活動支援をする。この活動を実施しているグループを、高校生ボランティアグループ「パレット」と呼んでいる。	開催回数	5回	10回
					参加者数	150人	684人
11	市民活動出張 (出前)講座	きっかけ	中高大学生に対し、市民活動とは何かを知ってもらおうと同時に、市民活動を実践するきっかけを作る。	市内の大学や高校等へ積極的に働きかけ、市民活動について広く周知する機会を得る。市民活動を理解し啓発するために依頼し講座を開催する。	開催回数	4回	4回
					参加団体数	10	8
12	男女共同参画 講演会	きっかけ (男女共同参画課)	男女共同参画に関する講師を招き、男女共同参画についての理解を深めると同時に市民活動へのきっかけを作る。	男女共同参画週間に講演会を実施する。	開催回数	年1回	年1回
					参加者数	70人	70人
13	女性のエンパ ワーメント講 座	きっかけ (男女共同参画課)	女性の自立をめざし、特に就労に視点を当て経済的に自立を支援すると同時に市民活動へのきっかけを作る。今後人権・男女共同参画課と長期計画を検討する。	女性の働き方にもいろいろあるので自立に向け就労・起業に関する講座を開催する。	開催回数	1回	1回
					参加者数	20人	4人
14	インターンシ ップ受入	きっかけ	若い力を育てるためインターンシップの受入れを行い、多くの登録団体とつながる機会を作る。	インターンシップを希望する学生に対し、充実した体験学習プログラムを企画し要望や希望を受け入れ効果的な実施体験の場を提供する。	開催回数	2回	1回
					参加者数	2人	1人

⑤交流・コーディネート機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	31年度 目標値	30年度 実績値
15	UMECO祭り	きっかけ	多くの市民にUMECOや市民活動団体を周知し、市民活動参加へのきっかけを作ると共に、参加団体相互の交流を図る。又、市民活動に興味や関心を持った市民がともに市民活動ができるようにする。	登録団体や利用者が一堂に会し、活動発表や作品展示など様々な企画（活動紹介・物品販売・パフォーマンス）を行い、自分たちの活動内容を多くの市民に知らせる。	開催回数	1回	1回
					参加団体数	105	100
					参加者数	4000人	4000人
16	声の万華鏡	行動	文学という大きなくくりの中から、西湘地域の民話や、文学的作品の紹介を朗読を通して多くの方に伝える。出演者は老若男女を問わず希望者には幅広く参加して頂く。特に高校生の演劇部と共催で実施する。	文学を愛する多くの市民が自主的に運営委員会を立ち上げ既に基礎が出来上がり実施している。今後も運営委員会を主体に参加者を募集し内容の調整をする。今年度も文学を中心とした団体さんと高校生とコラボして第4回声の万華鏡を7月15日（祭日）に実施する。今後他の高校生にも協力を得るために声かけし協力を得る。	開催回数	1回	2回
					参加団体数	30	27
					参加者数	400人	350人
17	わくわく交流会	行動	登録団体同士の交流会により、他団体の活動内容を知り、新たな発展的な活動の展開が行われ、市民活動の推進を図る。	分野別や課題別で団体が集まる市民活動団体間の交流事業。情報交換やワークショップ等を行い、地域課題の解決に貢献する。	開催回数	5回	2回
					参加者数	100人	40人
18	新春交流会	行動	市民活動団体と連合自治会長が一堂に会し交流を図ることで、市民活動団体同士及び市民活動団体と地域活動団体とのつながりを生み出す場をつくる。	普段団体同士の交流が少ない中で、机上論で話し合うのとは違い、飲食しながらお互い心穏やかにゆとりの中で会話のできる機会を持つ。1部はできるだけ団体の活動を知っていただけるような内容を企画し、2部は参加者同士のコミュニケーションが図れるよう工夫し楽しい会にする。	開催回数	1回	1回
					参加団体数	55	51
					参加者数	150	142
19	市民交流広場	きっかけ	市民活動団体をはじめ、広く一般市民の方や外国籍の方を対象に、楽しくソフトで自由な雰囲気の中での交流会。また、UMECOからの様々な情報を提供することで、市民活動の裾野拡大を目指す。	小田原市の一大イベントである「北条五代祭り」は一般市民や観光客も含め多くの方が小田原に来訪する。その機を逃さずUMECOの存在価値を示すと同時に、UMECOの宣伝をし興味をもってもらおう。又8月には「夏祭り」を企画し地域住民と共に楽しく市民交流の場を設け市民活動の裾野を広げる。	開催回数	2回	
					参加者数	300人	

⑥情報の集約・発信機能

No	事業名	コンセプト	目的	実施内容等	指標	31年度 目標値	30年度 実績値
20	メディア・ホームページ・情報発信	きっかけ	UMECOのホームページとしてより多くの市民に市民活動情報を発信し、小田原市の市民活動の推進・UMECOの利用促進を図る。情報発信の身近な手段として、市民活動団体や他の情報を知らせ市民活動に興味を持ってもらう。 FM小田原、J：COMのラジオ及びケーブルテレビを通し、団体の活動を一般市民にPRし、更なる活動の推進につなげる。	小田原市の市民活動を推進及びUMECOの利用促進につながる様々な情報を収集して、ホームページで迅速・正確に発信する。(市民活動団体に必要な情報・助成金・活動の予告・団体からの情報その他必要と認める内容を掲載する。) FMおだわら(毎週日曜日の午前10時)10分～15分間、団体の活動紹介をする。 J：COM(随時) 団体のイベント情報の紹介等を行う。	毎月入れ替え	毎月迅速に	
					FMおだわら回数・参加団体数	毎週日曜日 48	毎週日曜日 42
					J：COM	随時要請	5
21	UMECOだよりの発行	きっかけ	「UMECOだよりの」は、一般市民や市内外の方にもセンターの情報や取材したタイムリーな記事を載せ情報紙としての価値を高める。また一般市民や多くの方に市民活動への興味をもってもらえるようなイベントやボランティア募集等の情報等を提供し、市民活動への担い手を増やす。	市民が社会貢献活動に興味をもってもらうようイベントやボランティア募集の情報を掲載する。市民活動団体の情報だけでなく、市民が関心を示す社会的な記事・季節感ある記事等まさに情報紙として価値ある内容を載せる。 ◆偶数月隔月6回発行	発行回数	6回	6回
	つながるの発行	行動	「つながる」では、活動団体にUMECOの事業の情報や市民活動に関わる情報を提供し利用促進を図る。	活動団体が他団体の情報や、活動を知らせるための記事を載せる。 ◆偶数月隔月6回発行	発行部数	各2500部	各2500部